

## 平成30年度

### 事業報告書

本協議会は、長年にわたり被爆者や市民の健康管理に取り組んできており、平成30年度も引き続き、1)「被爆者の健康診断・健康管理事業」、被爆者の健康管理に関する調査研究事業、「被爆者の援護福祉事業」、2)「市民の健康診断・健康管理事業」、3)「検査・診療事業」、4)「人間ドック健診事業」、5)広島市の指定管理者として本協議会が入居している「広島市健康づくりセンターの管理運営事業」等を行った。

また、受診者減少をふまえて、正職員の削減（医師等を除き退職不補充）等を実施した。

#### 1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

##### (1) 健康診断の実施

###### ① 受診件数

(一般検査)

ア 健康づくりセンター	5,577件 ((内)休日(注1)193件)
イ 公民館等での出張健診	9,022件 (会場数391か所(注2))
計	14,599件

(がん検診等) (注3)

ア 健康づくりセンター	16,648件 ((内)休日(注1)360件)
イ 公民館等での出張検診	15,123件
計	31,771件

(注1) 第2・第4・第5の土曜日及び第1・第3の日曜日に実施。(婦人科(乳がん、子宮がん)検診は第3の日曜日のみ実施。)

(注2) 単独237会場、住民健診と合同154会場。

(注3) 5大がん(胃、肺、乳、子宮、大腸)、多発性骨髄腫、骨粗鬆症検診の合計。

② 出張健診において、廃止等した会場については、被爆者の高齢化等をふまえ、引き続き最寄りのバス停から近くの会場まで送迎を実施した。(送迎者数102人)

③ 被爆二世健康診断は、引き続き、受診の予約を市経由でなく、本協議会が直接受ける方法により、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場で実施した。

(受診件数)

ア 健康づくりセンター	2,263件
イ 公民館等での出張健診	22件
計	2,285件

④ 乳がん検診では、国の通知に基づき平成30年度から視触診を廃止した。

- ⑤ 「ひろしま市民と市政」(毎月1日号、15日号)において、直近の出張健診の日程のPR等を行った。

(参考) 検査別件数 (単位:件)

区 分		計 画	実 施 数	
被 爆 者	一 般 検 査	13,200	14,599	
	精 密 検 査	13,600	14,628	
	胃がん検診	X 線	800	1,315
		内視鏡	600	622
	肺 が ん 検 診	7,600	8,056	
	乳 が ん 検 診	1,400	1,520	
	子 宮 が ん 検 診	1,000	1,154	
	多 発 性 骨 髄 腫 検 診	9,600	9,996	
	大 腸 が ん 検 診	5,300	5,595	
	骨 粗 鬆 症 検 診	3,200	3,513	
被爆二世健康診断(※)		2,500	2,285	
合 計		58,800	63,283 (計画件数の107.6%)	

(※) 被爆二世健康診断は受診者数で表示

## (2) 健康管理の推進

被爆者の高齢化を考慮し、次の事項を重点に取り組んだ。

### ① 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医歯薬保健学研究院、同原爆放射線医科学研究所、(公財)放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫・大腸がん等の悪性新生物の早期発見に努めた。

- ・ 悪性新生物発見件数 45 件(平成 29 年度のがん検診受診者 延 29,804 人中。平成 30 年度末までの追跡調査の結果。)

### ② 生活習慣病及び高齢者に多い疾患の早期発見と指導

糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症、サルコペニア(※)、認知症等の早期発見に努めるとともに、保健指導、栄養指導、運動指導を行った。

○要治療者数(主な疾患別)

- ・ 糖 尿 病 2,213 人
- ・ 高 血 圧 7,429 人
- ・ 骨 粗 鬆 症 2,449 人

○被爆者分保健指導等

- ・ 保健指導 9 件
- ・ 栄養指導 7 件
- ・ 運動指導 6 件

(※) 進行性及び全身性の骨格筋量および骨格筋力の低下を特徴とする症候群。

(3) 健康診断医療機器等の整備

検査機器の老朽化、検査ニーズの増加や特定健診（詳細項目）の充実に対応するため、次の機器を更新・整備した。

- ① CT 撮影装置更新 (3,560 万円)
- ② 眼底カメラ更新 (230 万)
- ③ 心電図検査装置更新 (200 万円)
- ④ 超音波骨密度測定装置増設 (200 万円 増設後 計 3 台)
- ⑤ 超音波装置増設 (850 万円 増設後 計 4 台)
- ⑥ MRI 装置更新 (7,950 万円) (工期 平成 31 年 3 月～4 月末)

(4) 被爆者健康管理資料の作成等

受診者の健診資料（健康診断個人票・がん症例報告等）を集計して、概要を本協議会の事業概要やホームページに掲載した。

また、調査研究資料として活用できるよう整理・保存した。

- ・ 健康診断個人票 80,036 件

(5) 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

国の黒い雨体験者に対する相談・支援事業を広島県、広島市の委託を受けて実施した。

- ・ 相談会 8 会場、相談者 46 人 ((内) 市外分 1 会場、相談者 7 人)

## 2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業 (公益事業 1)

(1) 調査研究の継続実施

本協議会での検診データを活用して、被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査等、平成 28 年度以前に実施したものに加えて、平成 29 年度に新たに着手した次の 6 項目の研究を引き続き実施した。

また、適宜、それまでの成果等を原子爆弾後障害研究会、関係学会や医学雑誌、会報等で発表した。

- ① ウイルス肝炎スクリーニングの疫学的解析
- ② ピロリ菌の薬剤耐性の経時的変化
- ③ 大腸内視鏡検査と CT-C の併用の意義
- ④ 慢性腎臓病と心血管疾患の関連
- ⑤ 呼吸器疾患と喫煙習慣
- ⑥ 高齢者の生活習慣病健診のあり方の見直し

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集し、その活

用を図った。(平成 31 年 3 月 31 日現在の蔵書数 1,032 点)

(3) 第 59 回原子爆弾後障害研究会での発表

平成 30 年 6 月 3 日 (日)、長崎市で開催された「第 59 回原子爆弾後障害研究会」において、本協議会医師が一般演題を発表した。

◎ 一般演題

「被爆者健診発見肺癌における健診時アルブミン・グロブリン比と予後に関する検討」

—平野 千尋 健康管理・増進センタードック健診科長

### 3 被爆者の援護福祉事業 (公益事業 2)

(1) 被爆者相談の実施

広島市の協力の下、被爆者相談を行った。

区 分	件数(件)
生活・福祉相談	99
健康・医療相談	35
原爆関係諸制度	57
被爆者の子の相談	58
その他	14
計	263

(2) 援護措置の実施

本協議会独自で次の援護措置を行った。

援護措置区分	件数(件)
生活困窮者援護金	0
被爆身障者等見舞金	18
福祉用具利用補助	237
計	255

#### 4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

##### （1）高齢者医療確保法に基づく健康診査等（※）（広島市委託分）の実施

###### ① 受診件数

ア 健康づくりセンター	11,624 件（(内)休日(注1)993 件）
イ 公民館等での出張健診	4,221 件（会場数 196 か所(注2)）
計	15,845 件（※）

（※）医療保険未加入者分(278 件)及び被用者保険加入者分(1,235 件)を含む。

（注1）第2・第4・第5の土曜日及び第1・第3の日曜日に実施。

（注2）単独 42 会場。

被爆者健診と合同 154 会場（(内) 94 会場は胃がん検診も実施。）

###### ② 特定保健指導

（指導件数）

動機付け	533 件
積極的	250 件
計	783 件（(内)受診日から開始 765 件）

##### （2）健康増進法に基づくがん検診等（※）（広島市委託分）の実施

###### ① 受診件数

ア 健康づくりセンター	53,336 件（(内)休日(注1)5,212 件）
イ 公民館等での出張検診	27,993 件（会場数 461 か所(注2)）
計	81,329 件

（※）胃がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診（以上、5 大がん）、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査の合計。

（注1）第2・第4・第5の土曜日と、第1・第3の日曜日に実施。（婦人科（乳がん、子宮がん）検診は第3の日曜日のみ実施。）

（注2）単独 323 会場。

138 会場は住民健診等と合同。（(内)48 会場は5 大がんも実施。受診件数 11,037 件）

###### ② 医療機関からの依頼による胃カメラ検診の二重読影を行った。（1,096 件）

###### ③ 平成 30 年度より、㊦乳がん検診では視触診を廃止し、㊧骨粗鬆症検診を広島市健康づくりセンターに加えて、5 大がん等同時実施の出張検診会場でも行った。

##### （3）感染症法に基づく結核健康診断（広島市委託分）の実施

（受診件数）（上記(2)の肺がん検診受診者数を含む。）

ア 健康づくりセンター	9,663 件
イ 公民館等での出張健診	6,408 件
計	16,071 件（(内)単独受診分 28 件）

(4) 後期高齢者に対する健康診査（広島市委託分）の実施  
 (受診件数)

ア 健康づくりセンター	2,946 件
イ 公民館等での出張健診	2,128 件
計	5,074 件

(5) 健康管理資料の保管

精密検査実施者については、前後の検診データ（カルテ、心電図等）を含めて個人ごとにファイル化して（電子データはシステム内で）保管した。

- ・ ファイル数 59,078 人分（平成 30 年度末現在）

(参考) 検査別件数

(単位：件)

区 分		計 画		実 施 数			
特 定 健 康 診 査		15,000		15,845			
特 定 保 健 指 導		760		783			
胃 がん 検 診	X 線	11,700	83,060	11,546	81,329		
	内視鏡	2,100		2,360			
肺 がん 検 診		24,060		24,009			
乳 がん 検 診 (※1)		8,600		7,917			
子 宮 頸 がん 検 診 (※1)		7,000		6,399			
大 腸 がん 検 診		19,000		18,502			
骨 粗 鬆 症 検 診		3,700		3,973			
肝 炎 ウ イ ル ス 検 査 (※2)		6,900		6,623			
結 核 健 康 診 断		16,000		16,071			
後 期 高 齢 者 に 対 す る 健 康 診 査		4,600		5,074			
合 計		119,420		119,102 (計画件数の 99.7%)			

(※1) 市の無料クーポン（女性特有のがん検診推進事業）分を含む。

乳がん検診 357 人、子宮頸がん検診 23 人

(※2) 県の肝炎ウイルス検査（130 件）を含む。

## 5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業 (公益事業3)

平成30年4月から4年間引き続き広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの維持管理及び健康教育事業並びに子育て支援事業を行った。

(参考) 協定書等に基づく事業の概要

### (1) 健康教育事業

健康科学館年間 入館者数 55,621 人 (計画: 52,400 人)

- ① 健康科学展示施設の運営  
(内) 企画展 年 4 回 延 281 日 企画展観覧者数 30,883 人
- ② 健康ライブラリーの運営  
図書及びビデオを利用した学習の場の提供 (利用者 1,760 人)
- ③ 健康に関する研修等の実施  
年 77 回 参加者 3,186 人
- ④ ボランティア (ヘルスサポーター) に対する研修会  
年 11 回 (ボランティア養成講座 7 回を含む)
  - ・ サポーター登録数 (平成 31 年 3 月 1 日時点 112 人)
  - ・ 活動実績 463 回 (延 1,004 人)
- ⑤ 健康に関する情報の収集・提供  
身近な健康情報をとりまとめてインターネットで提供。

### (2) 子育て支援事業

- ① ファミリー・サポート・センター事業 (注)
  - ・ 会員数 4,156 人 (提供会員 545 人、依頼会員 3,537 人、両方 74)
  - ・ マッチング件数 1,317 件
  - ・ 提供会員希望者への講習会 (援助活動に必要な知識の普及) 年 1 回(注) 保育施設への送迎や保育時間以外の自宅等での預かり等の子育てを援助支援する人 (提供会員) の育成や、そのような援助を受ける人 (依頼会員) とのマッチング等を実施する事業。
- ② つどいの広場事業 (注)
  - ・ 利用者数 23,632 人 (大人 11,763 人 乳幼児・幼児 11,869 人)
  - ・ 子育て等に関する講習会の開催 年 20 回(注) 乳幼児と保護者が、他の子どもや保護者と一緒に遊んだり、保護者同士の情報交換等の場を提供するとともに、子育て等の情報提供、講演会、ボランティアによる育児相談を実施する事業。
- ③ パパとママの育児教室の開催 (注)
  - ・ 年 34 回 参加者 2,254 人(注) 第 1 子妊娠中の夫婦を対象に、助産師によるアドバイスやオムツ交換実習等を実施する事業。

## 6 検査診療及び人間ドック健診等の事業 (収益事業)

### (1) 検査診療事業

本協議会の健診等において、悪性疾患等が疑われた者に、確定診断等のための詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行った。（治療が必要な場合には、本人の希望に応じて外部医療機関に紹介した。）

また、広島市医師会員からの依頼に基づき生体検査（CT・MRI・超音波検査等）を行った。

（主な検査件数）

- ・ CT 1,473件（(内)医師会員依頼578件）
- ・ MRI 1,351件（(内)医師会員依頼691件）
- ・ エコー（腹部、心臓等） 4,699件（(内)医師会員依頼77件）

### (2) 人間ドック健診等の事業

① 人間ドック健診、生活習慣病予防健診、事業所健診等及びその結果に基づく運動、栄養指導を行った。また、メンタル面での健診メニューとしてストレスチェックを行った。

（単位：件）

区 分	計 画	実施数
人 間 ド ッ ク 健 診	1,890	1,907
生 活 習 慣 病 予 防 健 診 （ 協 会 け ん ぽ ）	3,311	3,224
事 業 所 健 診	3,381	3,357
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	700	745
計	9,282	9,233 (計画件数の99.5%)

② 管理栄養士・健康運動指導士が、健診結果等に基づき、受診者一人ひとりに適した運動・栄養について指導・助言を行った。

（単位：件）

区 分	計 画	実施数
栄 養 ・ 運 動 サ ポ ー ト	327	245
健 康 サ ポ ー ト	100	73
計	427	318 (計画件数の74.5%)



(3) 軽度認知症等の早期発見の見地から、あたまの健康チェック等を行った。

(単位：件)

区 分	計 画	実施数
あたまの健康チェック (早期認知機能低下の早期発見)	150	66
ロコモチェック (運動機能低下の早期発見)	200	54
計	350	120 (計画件数の34.3%)

## 7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

「放射線被曝者医療国際協力推進協議会 (H I C A R E)」の主要推進団体として、被曝者医療を学ぶために来日した外国の研修生を受け入れた。

- ・ 受け入れ実績 6回 延28人

(2) 来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

来日した被曝者の健康診断及び医療相談、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談などを実施した。

- ・ 相談者数 17人

## 8 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

## 健康診断受診状況一覧

## 1. 被爆者の健康診断

(単位：件)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (A)	平成30年度 (B)	対前年度比 (B) / (A) × 100
一 般 検 査	18,760	17,698	16,020	15,209	14,599	96.0 %
精 密 検 査	19,437	18,759	16,546	15,418	14,628	94.9 %
胃 が ん 検 診	2,881	2,317	2,268	1,980	1,937	97.8 %
肺 が ん 検 診	10,279	9,681	8,730	8,345	8,056	96.5 %
乳 が ん 検 診	2,098	1,993	1,779	1,643	1,520	92.5 %
子 宮 が ん 検 診	1,696	1,567	1,360	1,276	1,154	90.4 %
多 発 性 骨 髄 腫 検 診	13,120	12,401	11,253	10,544	9,996	94.8 %
大 腸 が ん 検 診	7,577	7,025	6,345	6,016	5,595	93.0 %
骨 粗 鬆 症 検 診	4,547	4,543	3,855	3,553	3,513	98.9 %
被爆二世健康診断(注1)	2,489	2,452	2,487	2,362	2,285	96.7 %
計	82,884	78,436	70,643	66,346	63,283	95.4 %

(注1)被爆二世健康診断は受診者数で表示している。

## 2. 市民の健康診断

(単位：件)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (A)	平成30年度 (B)	対前年度比 (B) / (A) × 100
特 定 健 康 診 査 ( 注 1 )	15,541	15,525	15,318	15,202	15,845	104.2 %
特 定 保 健 指 導 ( 注 2 )	16	516	566	691	783	113.3 %
胃 が ん 検 診	15,887	15,830	14,614	15,386	13,906	90.4 %
肺 が ん 検 診	23,965	23,409	22,804	23,312	24,009	103.0 %
乳 が ん 検 診	8,816	9,698	8,646	8,392	7,917	94.3 %
子 宮 頸 が ん 検 診	7,073	7,475	6,846	6,879	6,399	93.0 %
大 腸 が ん 検 診	18,822	19,695	18,223	17,911	18,502	103.3 %
骨 粗 鬆 症 検 診	3,346	3,009	2,792	3,301	3,973	120.4 %
肝 炎 ウィ ル ス 検 査 ( 注 3 )	9,974	9,705	7,037	7,580	6,623	87.4 %
結 核 定 期 健 診	14,117	13,924	14,061	15,166	16,071	106.0 %
後 期 高 齢 者 健 康 診 査	3,599	3,715	4,086	4,689	5,074	108.2 %
計	121,156	122,501	114,993	118,509	119,102	100.5 %

(注1) 特定健康診査には被用者保険加入者及び医療保険未加入者の健康診査を含めている。

(注2) 特定保健指導は、平成26年度までは積極的支援の件数のみ表示していたが、平成27年度より動機付け支援と積極的支援の合計件数を表示している。

(注3) 平成28年度より、県の肝炎ウイルス検査(130件)を含めている。

## 3. 主な検査件数

(単位：件)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (A)	平成30年度 (B)	対前年度比 (B) / (A) × 100
C T	2,054	2,098	1,826	1,618	1,473	91.0 %
M R I	1,993	2,298	1,967	1,459	1,351	92.6 %
胃 部 内 視 鏡 検 査	2,468	2,958	3,269	5,383	5,198	96.6 %
大 腸 内 視 鏡 検 査	515	532	521	498	464	93.2 %
ブドウ糖負荷試験	895	1,147	538	220	44	20.0 %
エコー(腹部、心臓、甲状腺、頸動脈等)	7,705	7,335	6,716	7,164	7,900	110.3 %
胃透視検査(検診分)	18,768	18,147	16,437	14,042	16,019	114.1 %
計	34,398	34,515	31,274	30,384	32,449	106.8 %